

いつでも、どこでも、北上川や旧北上川の情報が入手可能に!

## 防災情報ポータルサイトの運用を開始しました

9月～10月は台風や秋雨前線による洪水が心配される時期です。

北上川下流河川事務所では、洪水時に必要な情報が一画面からリアルタイムで入手できる「防災情報ポータルサイト」を先月(8月)28日より東北で初めて運用を開始したので紹介します。

### 防災情報ポータルサイトとは...

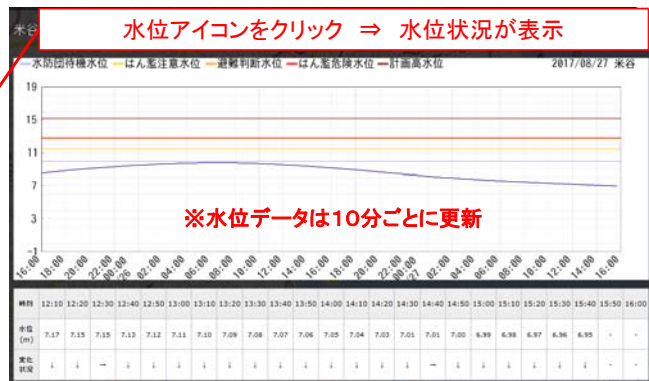
- 一画面でお住まい地区の雨量、河川水位や浸水想定区域等の様々な情報を閲覧することができ、基準水位の超過状況や洪水予報の発表状況についても容易に確認することができます。
- パソコン及びスマートフォンから閲覧可能なため、屋内外問わず状況を把握することができます。

防災情報ポータルサイトでは、下の10項目の情報が一画面で見ることができます。

No.	情報項目名	No.	情報項目名
1	背景地図	6	受け持ち区間
2	実況水位	7	洪水予報・水防警報
3	地上雨量	8	XバンドMPLレーダ合成雨量(実況)
4	CCTVカメラ	9	浸水想定区域(破堤点ごとアニメーション)
5	浸水想定区域図	10	道路通行規制情報

※北上川下流防災情報ポータルサイトURL: [http://www2.thr.mlit.go.jp/Bumon/j74201/kasen\\_portal/](http://www2.thr.mlit.go.jp/Bumon/j74201/kasen_portal/)

### 防災情報ポータルサイト内の画面(スマートフォン画面)



最寄りの堤防地点(河川距離標、裏面に説明があります)を選ぶと、その堤防が破堤したときの浸水シミュレーションが見られます。

※避難するためには、市町村から出されている「洪水ハザードマップ」より、避難場所や避難ルートをあらかじめ確認して下さい。

浸水想定をクリックすると右の画面が出ます。





## 堤防にある目印は何のためにあるの？

下の写真のように河川堤防に設置されている『北上川〇〇. 〇km〇岸』は、河川距離標と言います。堤防の地点を表しています。

### 河川距離標の利用例

災害や事故が起きたときに場所を伝えるのに利用しています。  
また「防災情報ポータルサイト」の「浸水想定」では、最寄りの堤防地点（前ページでは『北上川39. 2km左岸』）を選んで、その地点の堤防が壊れたときに想定した洪水氾濫シミュレーションによる浸水範囲を見る場合に利用されています。



川の流れ

距離標

【写真】  
北上川  
左岸 35.8km地点



## 河川にある目印

### 河川の距離標とは？

国が管理する河川には、堤防上に河口（合流点）から約200m間隔で距離標を設置しています。

### 河川でのその他の目印は？

橋梁、樋門・樋管等があり、いずれの施設にも銘板があります。

### 川の右岸、左岸とは？

河川の上流から下流に向かって、左側を左岸、右側を右岸と呼んでいます。



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～

- 1947年9月「カスリン台風来襲」
- 1948年9月「アイオン台風来襲」



【写真】大泉堤防決壊による浸水状況（登米市中田町内）

昭和22年（1947年）9月のカスリン台風により、大泉堤防が決壊、現在の登米市中田町、迫町、登米町、米山町が濁流に呑み込まれ死者15人、浸水家屋5,908戸の甚大な被害をもたらしました。



国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所 米谷出張所

〒987-0902 宮城県登米市東和町米谷古館5-4 TEL 0220(42)2211 FAX 0220(42)2249

北上川下流河川事務所ホームページ URL : <http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/index.html>

